

事例 8

ムービーをつくろう

1 活動の設定理由

最初に行ったアンケートの結果からも分かるように、洋画鑑賞は、生徒が興味をもっている活動の一つである。しかし、実際の映画を鑑賞しても、使われている表現が難しく、字幕を読むようになってしまい、なかなか英語の学習には結び付かない。そこで、生徒に、身近なものを題材にした簡単な英語ドラマを映画仕立てにして制作させ、鑑賞会を行うことにした。ストーリーの展開を楽しみながら、映画の中で使われている英語を聞き取り、内容を理解させたい。

2 指導目標

- ①ストーリーの展開に留意し、それぞれのシーンにふさわしいセリフを英語で正確に表現できるようにする。
- ②制作した映画を鑑賞し、内容を英語で理解できるようにする。

3 授業での位置付け

映画やテレビドラマについての内容を扱った単元の応用活動として行う。

4 指導手順

- ①クラスを五グループに分け、まずはそれぞれのグループでストーリーを考えさせる。その後、各グループが考えたストーリーを発表し、それらを織りまぜて一つのストーリーを完成させる。
- ②ストーリーを七つのシーンに分け、クラスも七グループに分ける。グループごとに、担当するシーンを決め、正確にストーリーを伝えられるような適切なセリフを考えさせ、ワークシートに書かせる。
- ③ALTにワークシートの英語をチェックしてもらった上で、シナリオを完成させる。
- ④役割分担を決め、全員でセリフを練習させる。
- ⑤撮影する。
- ⑥上映会をする。
- ⑦相互評価をさせる。

5 指導上の留意点

- ①英語の授業時間に行うだけではかなりの時間を費やすことになってしまうので、昼休みや放課後なども利用して撮影する。
- ②セリフやナレーションだけではストーリー展開が分かりにくいところは、日本語の解説を字幕で入れる。
- ③役を演じる人だけが英語を話すことがないように、グループごとに全員がセリフを言えるように練習させる。
- ④上映会の後、感想をできるだけ英語で発表し合う。
- ⑤制作した映画を、他のクラスでも上映し、ストーリーを理解できたかどうかを確かめるための活動を行う。

6 教材例

数研出版 *BIG DIPPER English Course I* Lesson 5 Dreams Are for Everyone

7 資料 資料① 生徒が作成したワークシート例 資料② シナリオ例

<資料① 生徒が作成したワークシート例>

LET'S MAKE A MOVIE!

Class() No.()

Name()

TITLE Treasures in Our School		Scene (4) 杉商前
Outline: Bグループが杉商の前に行く。 鳥男が出て来て、2-4に行け、という紙をくれたので、行くことにした。		
Role	Words	
ナレーター	The 1st group went to the the SUGISHO store immediately.	
鳥男	(鳴き声) Do you know who I am who I am?	
生徒	Are you a Bird Man?	
鳥男	Oh, aren't	
鳥男	Yes! I have a present ^{for you} .	
生徒	(包を開けて中の紙を広げる)	
生徒	Wow!	
生徒	Let's go to A-4!	
全員	the class	
全員	Yes. Let's!	

<資料② シナリオ例>

Treasures in Our School ～僕たちの学校の宝物～

Scene ① 教室

それはある暑い夏の日だった。僕たちはあまりに暑いので、勉強を中断し、英語の質問をするふりをして涼もうと、職員室に行くことにした。

ナレーター	It was a hot summer day.
Aグループ1	Isn't it too hot?
Aグループ2	I wonder why we don't have an air conditioner here.
Aグループ3	I cannot study because of this heat!
Bグループ1	Well, let's go to the teachers' room.
Bグループ2	Yes, we can say that we have some questions for English study.
全員	Yes. Let's go!

Scene② 職員室

残念ながら、よしこ先生は職員室にはいなくて、僕たちは職員室に長居できそうになかった。しかし、帰りかけたその時、変なものがよしこ先生の机の上についていることに気づいた。そう、それはなんと、僕たちの学校に眠るといふ伝説の宝の地図だった。僕たちはこっそりそれを持って、廊下に出た。

ナレーター	Unfortunately, Yoshiko was not at the teachers' room.
Bグループ 3	(机上の地図を指差して) Oh, look at that!
Aグループ 1	What is it?
Aグループ 2	It looks like a map.
Aグループ 3	Let me look! (地図を広げる)
Bグループ 1	Wow, this is a treasure map!
Bグループ 2	I want to find out what the treasure is!
Bグループ 3	・・・(地図を持ち、手招きをしてみんなに廊下に出るよう促す)
全員	(廊下に出る)

Scene③ 元の教室

宝の地図には、行くべき場所が二つ示されていた。1つは杉商の前、もうひとつは中庭の楠の根元だった。そしてまた、不思議なことに、杉商には鳥男、楠には妖精のようなものが描かれていた。そこで僕たちは、二手に別れて、それらの場所へ行ってみることにした。

ナレーター	There are 2 points on the map. One is in front of the SUGISHO store with a Bird Man. Another is under the KUSUNOKI tree with fairies.
Aグループ 1	OK. Let's make two groups and go to each point.
Aグループ 2	We can go to the SUGISHO store.
Bグループ 1	OK. We will go to KUSUNOKI.
Bグループ 3	Let's see if we can find it.
Bグループ 2	See you later!
Aグループ 3	Good luck!

Scene④ 杉商前

Aグループが杉商の前に行くと、鳥男が待っていて、2-4の教室に行けという紙をくれた。

ナレーター	The first group went to the SUGISHO store immediately.
鳥男	(鳴き声) Do you know who I am?
Aグループ 1	Oh, aren't you a Bird Man?
鳥男	Yes, I have a present for you. (カンを渡す)
Aグループ 2	(カンを開けて中の紙を取り出す) Wow!
Aグループ 3	Let's go to the 2-4 class!
全員	Yes, let's! (鳥男も一緒に走り出す)

Scene⑤ 楠

Bグループが中庭の楠のところに行くと、妖精が現れ、2-4の教室に行けという紙をくれた。

ナレーター	The second group went under the KUSUNOKI tree.
Bグループ 1	Oh, who are you?
くすのき 1	Hello, everyone. We are the KUSUNOKI tree brothers.
くすのき 2	We have a message for you. (缶を渡す)
Bグループ 2	(缶を開けて中の紙を取り出す) Look at this!

Bグループ 3 | Wow! We must go! (走り出す)

Scene⑥ 2-4 教室 (実は 1-3)

僕たちは全員同時に 2-4 の教室に到着した。すると、そこの黒板に「窓の外を見ろ」と書いてあった。窓の外には何かが入っていると思われる缶がぶら下がっていた。一人がそれを取ろうと、窓から身を乗り出したところ誤って窓から落ちそうになってしまった。

全員	(黒板を見て窓へ走り寄る)
Aグループ 2	(窓から落ちる) Help!
Aグループ 1	Oh, my goodness.
Aグループ 3	We will help you. Don't worry.
全員	(AグループBを何とかして教室に引っ張り上げる)
Bグループ 1	We did it!

Scene⑦ Happy end

やっとのことで助け上げた友達の手にあった缶を開けてみた。すると、中には紙切れが入っていた。(紙切れの映像=[宝物は君たち生徒]) 僕たちの短い冒険はこれで終わり。そして、夏休みもうすぐ終わろうとしていた。でも、僕たちの中では、明らかに以前とは違う何かが芽生え始めていた・・・完

Aグループ 2	Thank you very much.
Bグループ 2	You're welcome.
Bグループ 3	Let's open this. (カンを開ける)
Aグループ 1	(紙を開く)
全員	Gosh!
ナレーター	Our short adventure came to end at this point. In addition, our summer holidays were almost over. However, we know something has changed inside of us. (The end)

8 考察

映画を制作することは、簡単な活動ではない。敢えてそれに取り組んだ理由は、生徒に成功体験をさせることで、英語に対する興味関心を高め、意欲的に英語学習に取り組む姿勢を身に付けさせたいと考えたからである。

指導する際には、いくつかの段階を設定し、少しずつ課題をクリアするような工夫をした。ストーリーを考える段階では、豊かな発想力で様々なアイディアが出ていたが、実際に英語で表現する段階になると、それまでに思い描いてきたプロットを表現するだけの英語力が不足していることを生徒は痛感していた。しかし、グループで協議することで、同じ内容を表すにも様々な表現方法があり、今までに学習して得た知識を活用すればプロットを変える必要がないということに気づき、協力しながらスクリプトを完成させていった。和文英訳のような活動では、英語で「書く」ことに苦手意識がある生徒は、単語が一つ分からないだけで、途中で「書く」ことをやめてしまう場合もある。しかし、本事例のように「書く」活動が意義付けされ、それを生徒が十分に認識できれば、生徒の自発的な工夫が見られ、意欲的な取組がなされる。

映画を視聴後、生徒に感想を聞いたところ、次のようなものがあつた。

・最初は無理かも知れないと思ったけど、やってみたら楽しかった。

- ・一人ではできなくても、グループで協力して、みんなの力を一つにすると、難しいことも英語で言えると思った。
- ・日本語で考えたストーリーを英語にするとき大変だった。こんな言い方授業で勉強したかも知れないと思っても思い出せなくて、悔しかった。
- ・英語でセリフを考えたとき、もったきちんと勉強しておけばよかったと思った。
- ・大変なこともあったけれども、また映画を作りたい。

生徒の感想からも、達成感や満足感を味わったり、日頃の学習の重要性を認識したりしたことが分かる。本事例を通して今後の英語学習への意欲が高まった生徒が多かった。本事例は、英語に興味をもたせるには非常に有意義な活動であったと言える。生徒が英語を学ぶ必要性を感じ、それが英語学習への動機付けとなり、生徒の英語運用能力の伸長につながるようなコミュニケーション活動を、今後も研究して実践したい。

9 応用例

連続ドラマ形式で、一話ごとにクラスを変えて、作成する。